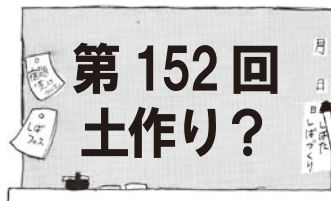


しば子先生の 芝生教室



先生：昔に比べてずいぶん減ったと思っていたけど、いまだに芝生の管理は『土作り』から・・・なんて言っている人がいるなんて・・・大学の先生まで・・・

生徒：「農業は土作りから」・・・とは今もテレビなんかで言っているのを聞いたことがありますか・・・

先生：土作りという言葉自体が科学的に何を指しているかはっきりしていない言葉なのだけど、この土作り・・・と言うときは、大抵がいわゆる「堆肥（有機物）」をたくさん入れましょうと言うニュアンスだね・・・

生徒：いわゆる「有機農法」的なやつですね・・・野菜などの作物を買っている私たちも、何だか有機は良い物で、無機は良くない物と漠然と感じているかもしれません・・・

先生：そのイメージ戦略的なアプローチが誤解の元ね・・・無機と有機が何かわかってるならいいけど・・・

生徒：確かにどれだけの人が有機と無機の違いをきちんと理解しているか・・・スーパーで野菜を買っている人にはほとんど理解されていないでしょうね・・・

先生：この教室の生徒さんはきちんと分かっているでしょうけど・・・日本全体の芝生管理者の中でどれだけの人がちゃんと理解しているか・・・

生徒：窒素悪者論者と一緒ですね・・・科学的知識の欠如がどれだけ災いを呼ぶことになるのか・・・

先生：少なくともこの芝生教室を読んでいる皆さんには間違ったくらいわね・・・

生徒：実際のところ有機とか堆肥とかで芝生を管理するのは何が問題なのでしょう？

先生：まあ農業であればまあいいのよ・・・

生徒：と言うことは農業と芝生では何か大きな違いがあるということですよ・・・

先生：これにかぎらず何か間違っただけの考えにとらわれている人たちは、目の前にある当たり前のことにすら気がつかなくなってしまう物よ・・・農業と芝生の当たり前の違い・・・分かるでしょ？

生徒：ええっ・・・ん～芝生は誰も食べない・・・ですか？

先生：それも大きな違いだけ・・・土壌の管理上最も大きな違いは、作物の上に物を乗せないという事よ・・・

生徒：分かりました！・・・芝生はその上に人も乗るし芝刈機や管理機械も乗るけど、農作物の上に

は何も乗つかることはないですわね！・・・確かに当たり前です・・・

先生：そういうことね・・・畑でゴルフをやったら農家の人に怒られるわ・・・第一農作物に人が乗ったら枯れてしまう・・・それよりなにより、畑の土の上に人や機械が乗り続けたら土が硬くなって作物が育たなくなるわ・・・

生徒：そうか！畑は作付け前に耕運機で土を耕して土壌に孔隙を増やして空気が入られるから有機物が多くても少なくてもいいんですね・・・

先生：そういうこと・・・芝地に耕運機をかけたら芝地じゃ無くなるわね・・・

生徒：だから芝地はチマチマとエアレーションで穴を開けて土を入れ替えて土壌の孔隙を増やして土壌を改善するんですね・・・

先生：それに芝生は均一な高さで刈込をしなければいけないので不陸やコンパクションが低くではダメなのよ・・・しかも有機物を入れたら土壌粒子の間に目詰まりして孔隙が減って根が入らなくなるし、有機物は高分子だから水分子を抱えて保持して排水性を悪くしてしまう・・・逆に一度乾くと今度は水をはじいて乾燥してしまうことも・・・

生徒：グリーンであれば不陸があっても柔らかかったら刈込すら出来ないです・・・

先生：なんで USGA がサンドグリーンを推奨するのか？・・・砂は小さい石、無機物でつぶれずに土壌の孔隙を保持できるわ・・・有機物の肥料成分は量も少なくいつ効果が出るかもわからない・・・今まで何度も言ってきた土壌の化学性、物理性の適正な状態を科学的に理解してその必要十分な条件をそろえること・・・そのためには何が必要なのか？・・・これこそが科学的な真の芝生に必要な「土作り」と言えるわ・・・科学的根拠のある正しい理解、知識が絶対に必要・・・土壌に有機物が増えればミミズ塚だらけで、ちょっとした雨で水が抜けず、ひとたび乾燥すればドライスポットが多発、しまいには病気が止まらなくなりしかも臭い・・・堆肥の原料は鶏糞や豚糞、牛糞、食品工場などから出る動植物の残渣・・・最悪なのは浄水場から出るヘドロ・・・基本的にみんな産業廃棄物・・・この異常気象の時代にそんな廃棄物で芝生がきれいになるかしら・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

《芝生教室のバックナンバーはこちらから》

